

# 蓄音機の世界

— 録音・再生の原点 —

菅原コレクション

2017.04.06 Thu. ~ 09 Sun.

明治12(1879)年3月28日 東京  
「こんな器械が出来ると新聞屋は困る」

当時の日本の著名人としてはじめて、大声で蓄音機に録音したのは「福地 桜痴(ふくち おうち)」と云われています。

※福地 桜痴は当時、福沢 諭吉と並ぶ有名で新聞社の社長をしていた。それから現代に至るまで技術の進歩により録音と再生の質は格段に向上しましたが、基本的な事柄は当時と何ら変わりません。

今回、大量生産・販売が可能であるがゆえに生き残った“水平式円盤レコード・SP盤”用の、本物の蓄音機を多種・多数展示します。実際に見て聴いていただき、その魅力を感じてもらおうと共に、なぜ「新聞屋が困る」と思ったのか？

この謎を解いていただければ幸いです。

展览会プロデューサー 福井 淳

**開催日時** 2017年4月6日(木)～9日(日)

開場：11:00～18:00

※6日(木)のみ17:00まで

**実演時間** 8日(土)・9日(日)に蓄音機の実演を行います。

時間：14:00～ / 16:00～

**入場料金** 入場無料(未就学児入場可)

**会場案内** 旧日本銀行広島支店 1F  
〒730-0036 広島市中区袋町 5-21



## 【後援】

◇ 蓄音機実演 音楽茶房 78 (セブンエイト)  
〒731-0113 広島市安佐南区西原 4-35-27  
Tel. 050-3334-5133

## 【お問い合わせ】

◇ 広島蓄音機愛好会  
Tel. (082) 256-9957

## 【注意事項】

- ・ 実演内容等が変更になる場合がございます。
- ・ 会場内での喫煙・飲食は禁止です。
- ・ 会場内での撮影は個人利用に限り可能です。
- ・ 未就学児の入場は可能です。
- ・ マナーの遵守をお願い致します。

関連情報等はこちら  
<http://hirozk.jp/>

